

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 337

政策体系	21	事業分類	ソフト事業	所管部局	市民部 環境課
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 3. 環境衛 現年		
事業名	環境保全事業				
細事業名	環境保全事業				
				評価表作成者	市民福祉部 環境課 森 隆志

## 1. 事業の概要

監視パトロールの実施、水質測定等による環境監視を行う。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

環境監視、環境美化意識の高揚を図るための事業。

### ②事業を実施する必要性

公害および環境悪化を防止するため、関係機関と連携した監視や河川水質の測定などを行う本事業は必要不可欠である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	142	892	872	670	955	960	960
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	142	892	872	670	955	960
職員等の従事人員	人/年	—	0.95	0.20	0.16			
人件費	千円	—	6,946	1,708	1,348			
事業費総額	千円	—	7,838	2,580	2,017			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

河川水質測定 413,380円（役務費）  
 ダイオキシン類測定 256,200円（役務費）

## 5. 事業結果の概要

水質測定（生活環境項目） 25箇所、延べ54回  
 水質測定（健康項目） 5箇所、延べ10回  
 ダイオキシン類測定 2回

## 6. 活動の詳細

(1) 環境パトロール		
継続的な監視が必要な箇所について、京都府と連携してパトロールを行った。	年間	京都府（南丹広域振興局・南丹土木事務所・南丹保健所）と連携して、パトロールを実施。
(2) 水質測定		
河川の水質を監視するため、水質測定を実施した。	年2回または6回	生活環境の保全に関する環境基準項目（5項目）：25箇所、延べ54回 人の健康の保護に関する環境基準項目（26項目）：5箇所、延べ10回
(3) ダイオキシン類測定		
廃棄物焼却施設における排出ガス中のダイオキシン類の濃度測定を実施した。	年2回	基準値内
(4) 測定結果の公表		
お知らせ及びホームページで測定結果を公表した。	通年	水質およびダイオキシン類の測定結果公表

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

関係機関と連携したパトロール、水質及び焼却施設排ガスの検査を継続し、環境監視に努めた。それぞれの測定結果は、過年度のデータとともに市ホームページを通じて公表した。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

前年度までは、他の事業にも類似業務が存在したため、事業体系を見直して同種業務を統合した。測定結果は、前年度に引き続いて、お知らせ・ホームページで公開した。経年変化が判るように、今後も過年度のデータとともに公開していく。  
ダイオキシン類測定は、測定頻度の適正化について関係者と協議の上、実施回数を見直した。

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
測定結果について、市のホームページ等で公表することとした。
- ②当該事業のアピール事項  
ダイオキシン類の排出基準超過によって長期にわたり焼却施設が停止したことから、発生源における監視を行った。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
他の事業においても類似の業務を行って、21年度から事業体系を見直すこととする。